

## 九州地区実験動物技術研修会の参加費の見直しにつきまして

令和を迎えて初めてとなる2019年度の九州地区実験動物技術研修会は、受講生16名および講師8名という体制のもとで、8月31日（土）と9月1日（日）の二日間の日程で無事に終わることができました。ご協力頂きました九州地区の実験動物関連の企業の方々に深くお礼申し上げます。

ところで、九州地区における本技術研修会は、公益社団法人日本実験動物協会（日動協）主催の通信教育事業を、一般社団法人日本実験動物技術者協会（実技協）九州支部が引き継ぎ今回で24回目となります。

この研修会の中身は、実技的には実験動物技術者資格認定の2級技術者レベルを中心とした基礎的な内容となっておりますが、特色としては、①我が国における実験動物関連の最新情報（動物愛護管理法等の関連情報を含む）を、現実験動物学会理事長より聴講できる事、②マウス、ラット、ハムスター、モルモットおよびウサギといった多種類の実験動物を用いて、保定方法から解剖に至るまでの基礎的な技術を実験動物技術指導員の指導のもとで実施できる事、③新旧さまざまな実験動物に関連する器材の観察とその説明を聞くことができる事、④実験動物2級技術者（2級）認定試験に関連する情報収集ができる事、⑤九州で活躍されている大学や企業等、所属の異なる方々（講師を含む）と人的交流や情報交換ができる事、などが挙げられます。

しかしながら、本研修会の最大の特色は、「参加費の安さ」ではないかと考えています。現在、実技協は全国7支部（北海道、東北、奥羽、関東、東海北陸、関西および九州）で構成されており、各支部ごとに独自の技術研修会が開催されています。その技術研修会の参加費について、会員数を多く抱えている大きな支部、すなわち関西支部、関東支部および東海北陸支部と九州支部とを比較してみました（図1参照）。そうすると、一目瞭然とわかりますように九州支部の参加費は他の支部と比較して極めて安い（約半値）ということに気付くかと思えます。

これは、九州地区で活躍されている実験動物関連の企業や関連の大学、さらに日本実験動物協同九州支部の方々のご協力とご支援、また企業や大学で活躍されている実験動物技術者の方々のボランティア活動により支えられ、これまで継続・維持できたという事はいうまでもありません。

その一方で、社会情勢の変化（消費税のアップ）や講師の方々のボランティアによる指導の是非などのご意見も寄せられるようになったことから、九州支部では本研修会の参加費についての議論をこれまで継続的に行ってきたという経緯があります。

図1. 実技研修会・参加費の日本実験動物技術者協会の各支部間での比較

動物種	所属	関西支部	関東支部	東海北陸支部	九州支部
マウス・ラット	会員	5,000円	20,000円	10,000円	4,000円
	非会員	15,000円	30,000円	20,000円	8,000円
ウサギ・モルモット	会員	22,000円	—	—	—
	非会員	32,000円	—	—	—
イヌまたはブタ	会員	—	20,000円	—	—
	非会員	—	30,000円	—	—

九州支部の結論としましては、苦渋の選択ですが、本技術研修会を今後もより充実した形で継続的かつ安定的に運営していくために、本研修会の参加費を値上げせざるを得ないということになりました。その金額につきましては、実技協九州支部の第42総会（久留米大学医学部）にてご報告させて頂きたいと思っております。

本技術研修会の運営につきまして、いろいろな考え方があろうかと思えます。九州でご活躍されている実験動物技術者の方々のご意見をできるだけ反映させていきたいと考えておりますので、ぜひいろいろなご意見やご要望をお聞かせ頂きたいと思っております。九州支部事務局までご一報頂ければと思います。どうぞよろしくお願い申し上げます。

**開催日時** 令和元年 年 8月 31日（土）～9月1日（日）  
**開催場所** 熊本保健科学大学  
**主任講師** 浦野 徹 大学共同利用機関法人 自然科学研究機構 生理学研究所 研究力強化戦略室 特任教授、（獣医学博士）  
**講師\*** 野口 和浩 熊本大学大学院生命科学研究部、生体微細構築学分野 助教（医学博士）  
 荒木 栄一 株式会社LSIメディンス（実験動物技術指導員）  
 大森 正士 株式会社新日本科学（実験動物技術指導員） <今回講師引退>  
 進村 美穂 KMバイオロジクス株式会社（実験動物1級技術）  
 若松 真矢 株式会社新日本科学（実験動物技術指導員）  
**会場担当講師\*** 松本 珠美 熊本保健科学大学 医学検査学科 准教授  
**講師研修生** 中村 直子 熊本大学生命資源研究・支援センター 動物資源開発研究部門  
 島津 伸也 株式会社LSIメディンス（実験動物技術指導員）  
 立部 誉 鹿児島大学研究推進機構研究支援センター（実験動物1級技術者）  
 菅田 恵理世 株式会社新日本科学（実験動物1級技術者）  
 \* 敬称略・順不同  
**協力機関\*\*** 日本実験動物技術者協会九州支部、日本実験動物協同組合九州支部、熊本大学生命資源研究・支援センター、熊本保健科学大学、九動株式会社、日本エスエルシー株式会社、株式会社 ケービーティー・オリエンタル、株式会社 LSIメディンス、株式会社 新日本科学 \* \* 順不同

## 受講費（テキスト代込み）

会員（日本実験動物技術者協会、賛助・組合員）：4,000円  
 非会員：8,000円  
 <協力機関のご協力により、格安にて研修会の開催が実現しております>

## 研修会使用動物種

マウス（成獣及び幼若動物）・ラット・ハムスター・モルモット・ウサギ



九動株式会社・株式会社ケービーティー・オリエンタル・日本エスエルシー株式会社より無償にてご提供いただいております。ご支援誠にありがとうございます。

## 研修日程

1 日目 8:30～17:30

- ① 開講式・オリエンテーション
- ② 概論講義（浦野）  
動物福祉、法規、環境条件の基準値、実験動物の分類、遺伝及び微生物的統御の分類等
- ③ 動物スライド供覧（若松）
- ④ 展示物の説明（若松）
- ⑤ ビニールアイソレータ（実物有り）と環境因子測定機器の説明（野口）
- ⑥ 実技実習（野口、大森、荒木、若松、進村、中村、島津、立部、菅田）  
（検収、検疫、保定法、性別判定、観察、個体識別、体重測定、臍垢検査等）
- ⑦ 懇親会

2 日目 8:00～18:00

- ① 実技実習（野口、大森、荒木、若松、進村、中村、島津、立部、菅田）  
（検尿法、除毛法、投与、採血、麻酔法、安楽死法、解剖等）
- ② 質疑応答
- ③ 閉校式（修了証書授与を含む）



## 受講者数

募集人員：16名（お申込者数：16名）  
 受講者数：16名（実技協会員：1名、賛助・組合員：4名、非会員：11名）